

<ケーススタディ地区の取組概要>

小規模分散型の森林の集約団地化を通じた効率的な木材生産や森林整備 ～再造林の低コスト化・木材の安定的な供給～

<地区名>

広島県 神石高原町地区

<局・署名>

近畿中国森林管理局・広島北部森林管理署、
広島森林管理署

<目的と背景>

当地域の民有林の特徴として、①人工林の所有形態が小規模零細であること、②過疎・高齢化による担い手不足、③木材価格の低迷など林業の採算性の悪化による森林所有者の林業意欲の低下により、手入れ不足の森林が増加しています。

そのため、小規模分散型の森林を集約・団地化して、路網整備と高性能林業機械を組み合わせた作業システムの導入により、効率的な木材生産、森林整備の推進を図る必要があります。

さらには、皆伐後の再造林について、木材収入に対する造林コストの掛かり増しなどの理由から未実施の箇所が多く、持続可能な森林経営の実現には、再造林にかかるコスト低減を図ることが喫緊の課題と言えます。



<連携体制>

ケーススタディ地区支援チーム

広島県、広島北部森林管理署、広島森林管理署、
神石高原町、神石郡森林組合

<平成29年度の取組概要>

【関係者との打合せ会議（5回開催）】

実施年月日：平成29年5月16日、9月1日、10月25日、
11月16日、平成30年3月13日

場 所：大造山国有林外(神石高原町)・神石高原町役場外
出席者：広島県、神石高原町、神石郡森林組合等

【福永区域森林共同施業団地の取組】

●路網配置と接続ポイントの検討

実施年月日：平成29年9月1日

場 所：大造山（おおぞうやま）国有林（神石高原町）
出席者：広島県、神石高原町、神石郡森林組合4名

●事業実績（民国総数）

皆伐2ha、搬出間伐15ha、素材生産量約2,400m³、
森林作業道約4,600m開設、5箇所の民有林接続ポイント
を設定

【再造林の低コスト施業技術に関する勉強会】

実施年月日：平成29年12月7日

場 所：通ヶ谷山（とおりがたにやま）国有林（神石高原町）
出席者：広島県、神石高原町、神石郡森林組合等8名

取組実績と今後の予定

広島県等と連携したケーススタディ地区支援チームにより、森林技術等の普及のために、現地検討会を開催して、情報共有や指導・助言等様々な支援を行っています。

福永区域森林共同施業団地の取組

●平成30年度事業に向けた路網整備を検討

平成29年9月1日に、広島県、神石高原町、神石郡森林組合、広島北部署により、第2回ケーススタディ地区の打合せを行いました。

当日は、同地区での取組概要（平成28年度取組、平成29年度の支援メンバー等）や新たな森林共同施業団地の候補地等について打合せを行った後、昨年度設定した福永区域森林共同施業団地において、今年度の事業状況（民有林、国有林）や路網配置、接続状況等について確認しました。

また、新たな団地化については、県営林担当者等との情報共有などの連携を図りながら検討を行っていくこととしました。

広島北部署は、今後同地区の取組を積極的に進めていきます。



●森林整備推進協定に基づく運営会議を開催

平成30年2月6日、神石郡森林組合と広島北部署は、福永区域森林整備推進協定に基づく運営会議を開催しました。会議では、森林作業道の維持修繕について議論が行われ、使用者は善良な利用に心がけるとともに、修繕が必要となった場合は、使用者（原因者）が復旧することを確認しました。

また、来年度事業実行にあたっては、供用する土場の使用調整など、双方の事業に支障が生じないように対応していくことを確認しました。

一方、運営会議の意義について、協定した事業を確実に達成させるためには、関係者の方向性の統一が必要不可欠であり、今後も連携を図りながら開催することとしました。

広島北部署では、今後も森林整備推進協定に基づく運営会議を開催しつつ円滑な団地運営を行っていきます。



<今後の取り組み>

- ・設定した森林共同施業団地において、民有林の路網と効率的な接続となる路網配置、接続ポイントの作設
- ・一貫作業システム等の低コスト再造林技術の普及啓発